

つながる街「なは」を楽しもう!

8月4日から無料公衆無線 LAN サービスがスタート!!

那覇市では、誰でも無料で使える公衆無線 LAN サービスを、8月4日からスタート! スマートフォン、タブレット端末、パソコンなどの機器には、無線 LAN 機能 (Wi-Fi) が搭載されており、Wi-Fi フリースポットで誰でも無料でインターネットに接続することができます。また、公衆無線 LAN サービスの開始に合わせ、現在地周辺の店舗情報をリアルタイムに提供するポータルサイト「NAHAPO (なはぽ)」の開設、スマートフォンアプリの提供、GPS 連動情報案内といったさまざまなサービスを開始します。これらの取り組みは、那覇市を訪れる方の利便性の向上、観光客の増加などを目的とし、将来の那覇市の発展につながる環境を整備するものです。「つながる」街「なは」がより便利に、より楽しく、那覇を訪れる一人一人を「つなげて」いきます。

Q 無線 LAN サービスとは?

パソコンやスマートフォンなどで、物理的な線を繋がなくてもインターネットやメールができるサービスです。無線 LAN サービスを「Wi-Fi」と呼ぶことがありますが、「Wi-Fi」とは国際的な業界団体の認証及びその認証を受けた機器に付けられる名称で、今回提供するサービスは業界団体の認証を受けたサービスです。

Q Wi-Fi フリースポットとは?



▲このステッカーが Wi-Fi フリーエリアの目印

「Wi-Fi」は各種通信事業者から提供される場合が多く、その通信事業者との契約が前提になります。Wi-Fi フリースポットとは通信事業者との契約がなくても利用できるインターネット接続サービスで、無料で利用できます。

Q ポータルサイト「NAHAPO (なはぽ)」とは?

那覇市の見どころがたくさん掲載されているホームページで、「なは×さんぽ」が語源です。飲食、お土産、観光地などの情報があり、新しい那覇の発見があるかもしれません。

Q スマートフォンアプリ「マブヤーの宝探しゲーム」とは?

スマートフォン用のアプリとして「マブヤーの宝探しゲーム」を提供します。このアプリをダウンロードすると、国際通り周辺で宝探しをして遊ぶことができます。宝探しに参加して、悪の軍団「マジムン」から大切な魂を取り戻そう!

くわしくは web → http://nahapo.jp(NAHAPO サイト)>

【お問い合わせ】なはまちなか振興課 ☎867-5260



ハイサイ! 街角インタビュー



呉屋 優真くん(城西小5年) 【ともだちや学童(首里山川町)】

漫湖チユラカーギ作戦29 参加

6月22日(土)、漫湖・水鳥湿地センターには子ども達や青年、学生や企業など様々な人々が集まりました。みなさんの協力の下、水鳥をはじめ貴重な動植物が生息する漫湖をきれいにしようという「漫湖チユラカーギ作戦29」が行われました。立っているだけでも汗が出てくる程の晴天の中、「一所懸命ゴミを拾っていたのが首里山川町から参加した「ともだちや学童」の呉屋優真(こや ゆうま)くん(城西小5年生)、呉屋くんは、友だちと協力しながら大きなゴミ袋、6袋分のゴミを拾い集めました。

作業を終えて呉屋くんは「暑い中、たくさんゴミを集めたので疲れましたが、漫湖がきれいになってよかったです。ゴミの中には、割れたガラスやガス缶など危険なゴミもたくさんあったし、冷蔵庫やタンス、じゅうたんがそのまま捨てられていたのにはビックリしました。また機会があれば、ぜひ参加したいです」と元気に話していました。漫湖の豊かな自然がこれからも保たれるように、みなさまのご協力を今後ともユタサルグトウ、ウニゲーサビラ!

環境トピック

もったいない MOTTAINAIと4R

那覇市の推進するごみ減らしの4R



様々なものが豊かになった現代においては、「MOTTAINAI」という気持ちが薄れやすくなっています。本市では、そのような大量生産・大量消費・大量廃棄型社会を見直し「循環型社会」の形成を目指すため、環境省の推進する3Rに「Refuse (断る)の「R」を一つ加えた「4R」としてごみの減量・資源化の推進に取り組んでいます。

【お問い合わせ】廃棄物対策課 ☎951-3231

皆さんは故ワンガリ・マーティンさん(以下、マーティンさん)をご存知でしょうか。マーティンさんは、2004年に環境分野で初のノーベル平和賞を受賞したケニア出身の女性で、ケニア共和国の環境・天然資源省副大臣や国連平和大使を務めた方です。そのマーティンさんが来日した際、日本の「もったいない」という言葉に出会いました。環境の3R(Reduce)「ごみ削減」、「Reuse」(再利用)、「Recycle」(再資源化)に限りある資源に対する Respect (感謝・尊敬の念)を込めた言葉「もったいない」。この言葉に感銘を受けた彼女は、世界共通語「MOTTAINAI」として広めることを提唱しました。この言葉は、本市のごみの減量・資源化の推進についても重要な意味を持っています。

本市のさらなるごみ減量・資源化を図る上で課題の一つが「生ごみの減量」です。生ごみはもやすごみ全体でも大きな割合を占めており、そのほとんどは残飯ですが、中には手つかずの食品も含まれています。本市が過去に実施したごみの組成分析検査(どのようなごみがどれだけ捨てられているかを調べるための調査)において、ほとんど手つかずの食品が数多く含まれていたことがありました。(写真)



- ①何が必要か、買い物に行く前に冷蔵庫をチェックしましょう。
- ②どのくらい必要か考えて買いましょう。
- ③料理は作り過ぎに注意し、残さないようにしましょう。

食料品だけでなく、限りある資源への感謝・尊敬の念を持つことにより、ごみの減量・資源化を一層推進することができます。豊かになった今だからこそ、忘れかけていた美しい言葉「もったいない」、世界に誇るべき言葉「MOTTAINAI」について見直してみませんか。本市の推進する「4R」についても、是非「MOTTAINAI」の心を持ってご協力をお願いいたします。